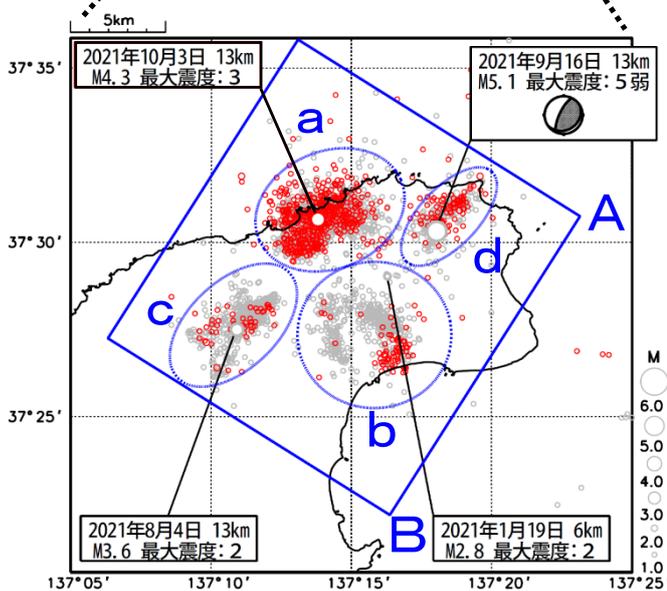
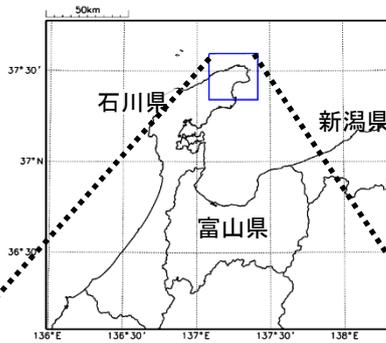
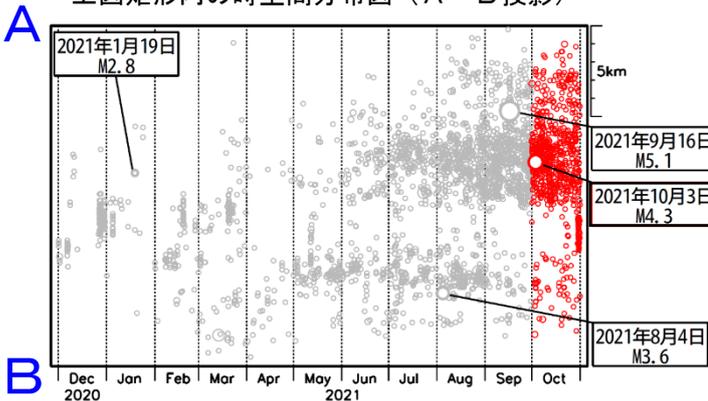


石川県能登地方の地震活動

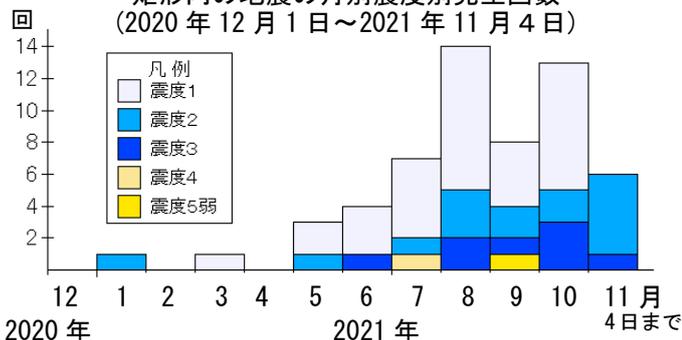
震央分布図
 (2020年12月1日～2021年10月31日、
 深さ0～25km、 $M \geq 1.0$)
 吹き出しは、各領域(a～d)内で最大規模の地震
 2021年10月の地震を赤色で表示



上図矩形内の時空間分布図 (A-B投影)



矩形内の地震の月別震度別発生回数
 (2020年12月1日～2021年11月4日)



石川県能登地方 (拡大図の矩形内) では、2018年頃から地震回数が増加傾向にあり、2020年12月から地震活動が活発になっている。2021年9月16日18時42分にはM5.1の地震 (最大震度5弱) が発生した。この地震は地殻内で発生した。この地震の発震機構は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であった。

2020年12月以降の領域別の地震活動をみると、12月末頃から活発化した領域bの活動は4月以降鈍化傾向であるが、10月末はやや増加した。領域bに続き活発化した領域cの活動も9月に入りやや低下している。それに対し、遅れて活発化した領域a及び領域dの活動は依然として活発であり、特に領域aの活動は活発である。矩形領域内で震度1以上を観測した地震の回数は以下の表のとおり。

期間別・震度別の地震発生回数表

期間	震度					計
	1	2	3	4	5弱	
2020年12月1日 ～2021年9月30日	24	8	4	1	1	38
2021年10月1～31日	8	2	3	0	0	13
2021年11月1～4日	0	5	1	0	0	6
計	32	15	8	1	1	57

左図矩形内及び領域a～d内の
 M-T図及び回数積算図
 (2020年12月1日～2021年10月31日)

